

第2章 景観の様相と景観計画の区域

景観計画の理念を実現するためには、箕輪町の景観の現況を把握した上で景観の様相ごとに区分を行い、それぞれの区分に合った方針を決めることが重要です。

1. 景観の様相

わたしたちの町は、多様な景観から成り立っています。そのため、計画を策定するにあたり、町の景観を様相ごとに捉えておく必要があります。

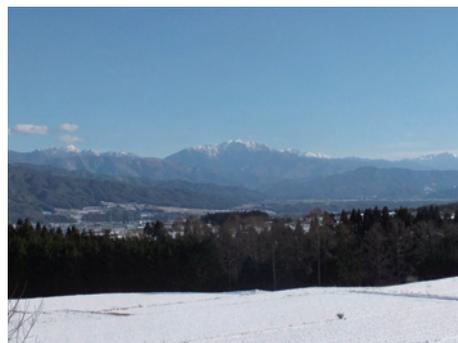
(1) 山地・森林景観

町の東西には山地が南北に連なり、雄大な山地の景観を眺めることができます。その山すそは、集落と農地からなる一体感のある景観となっています。

また、各地域にある神社の社叢林^{しゃそうりん}は遠くからでも認識することができる景観のアクセントになっていて、ひとたび社叢林のなかにたたずめば、周囲を林に囲まれ、訪れた人に安らぎを与える景観となっています。



高台から望む中央アルプス



冬の南アルプス

(2) 田園景観

「西天地帯」と呼ばれる西天竜用水路の開設によって形成された水田地帯は、町を代表する特徴的な景観の一つと言えます。四季折々の美しさがあり、わたしたちの心に安らぎやふるさとを思い起こさせる景観となっています。

また、家々の間にある農地は毎日の暮らしに密接し、豊かさを感じさせる田園景観をつくり出しています。



仙丈ヶ岳を望む西天の水田地帯



作付された畑

(3) 住居地景観

都市計画によって住居専用地域の指定も受けている地域は、町の中において住宅の密集地となっています。この住居地は国道 153 号沿いに広がり、一部伊那街道の面影を残す住居も見受けられます。

街道沿いに広がりを見せる住居地は昔からの路地も残され、歩くとわくわくするような通りもあります。

天竜川に沿って形成された段丘の突端部は整地され、住宅団地となっている場所もあります。

用途地域以外の住居地は主に古くからの集落が継続していますが、新たに住宅地として整備された地域もあります。また近年は農地である場所にも住宅の進出も見られ、農地と住宅地の混在が目立つようになってきました。



沿道が緑化された住居地



整然とした雰囲気の住宅団地

(4) 商工業地景観

主に都市計画の用途地域内における国道 153 号及び国道 153 号バイパス沿いに見られますが、帯無川の中流域沿いと、近年では国道 153 号の用途地域外に商業施設の進出が著しく、沿道の景観が急激に変化しています。



国道 153 号バイパス沿いの商業施設



田園の中の工業団地

(5) 河川景観

町内には町を二分するように流下する天竜川をはじめ、その支流がいくつもあり、見る人たちの心に潤いをもたらす流れとなっています。

市街地以外の川沿いには段丘林が形成されていることが多く、高台から眺めると緑の帯のように見えます。



盛夏の天竜川

(6) 沿道景観

沿道景観の特徴は移動をすることで、景観が連続して変化していくことです。町の道路は大きく分けて南北に伸びる道路とそれらを横断する形で東西に伸びる道路があり、移動方向により、変化する沿道景観の様相や規模に違いがあります。

田園地域の沿道は電柱のない区間もあり、雄大な山並みや田園景観を楽しむことができます。



初夏の町道木下、三日町線

(7) 段丘林景観

町には天竜川やその支流沿いに段丘林が発達しています。高台や遠方から眺めると緑の帯のように見える段丘林は、緑豊かな自然を感じさせてくれるばかりではなく、生き物たちの生息場所としても大切です。

また、段丘林があることによって低地の建築物などが隠れるため、段丘上からの良好な眺望景観を維持する重要な役割も担っています。



春の段丘林

2. 景観計画区域

箕輪町では、町の景観特性を生かし、箕輪町らしい景観を将来に引き継いでいくため、箕輪町全域を景観計画区域に指定します。

3. 地域区分の考え方

本計画では箕輪町の全域を「面」として捉え、景観の様相や将来予測される土地利用によって地域を山地・森林地域、田園地域、住居地域、商工業地域の四つの地域に分類します。

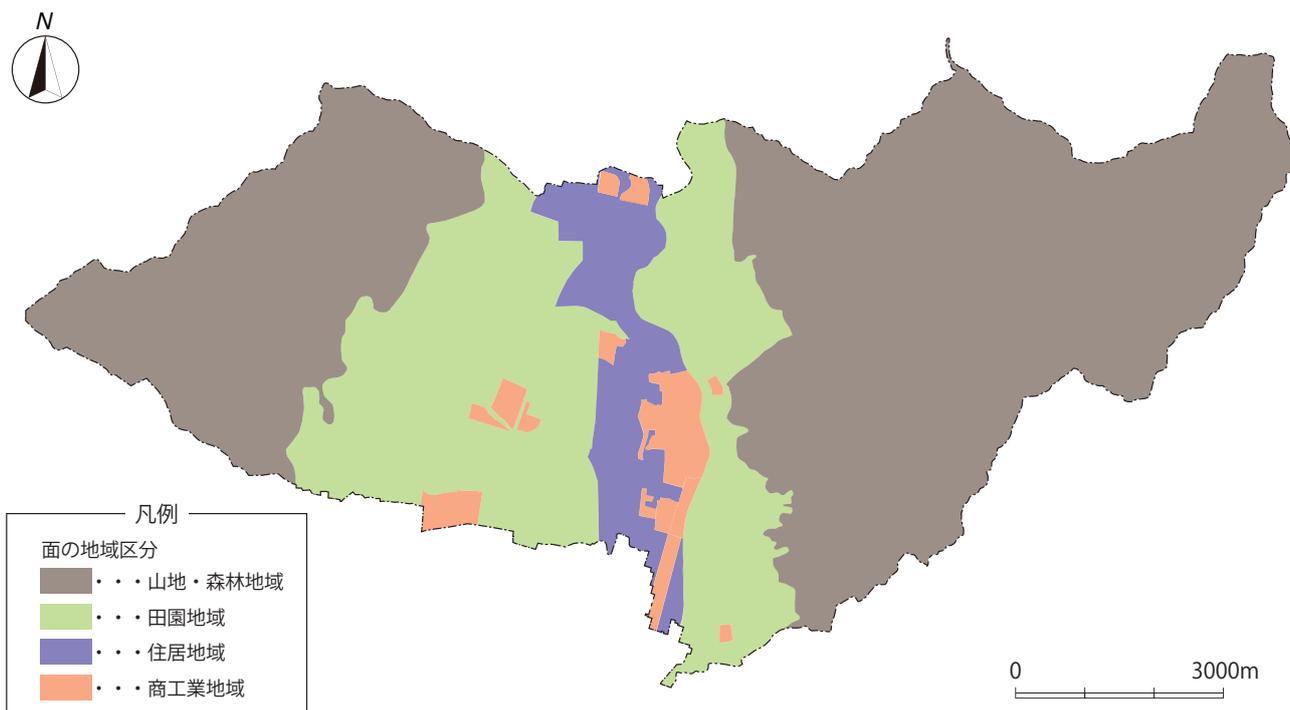
この他に、それぞれの「面」地域を結ぶ景観域として河川、沿道、段丘林の三つを「軸」とし、上記四つの地域に加えて分類します。

4. 景観計画区域の地域区分

■ 地域区分の概要（面）

景観区域の地域区分（面）については以下のとおりです。

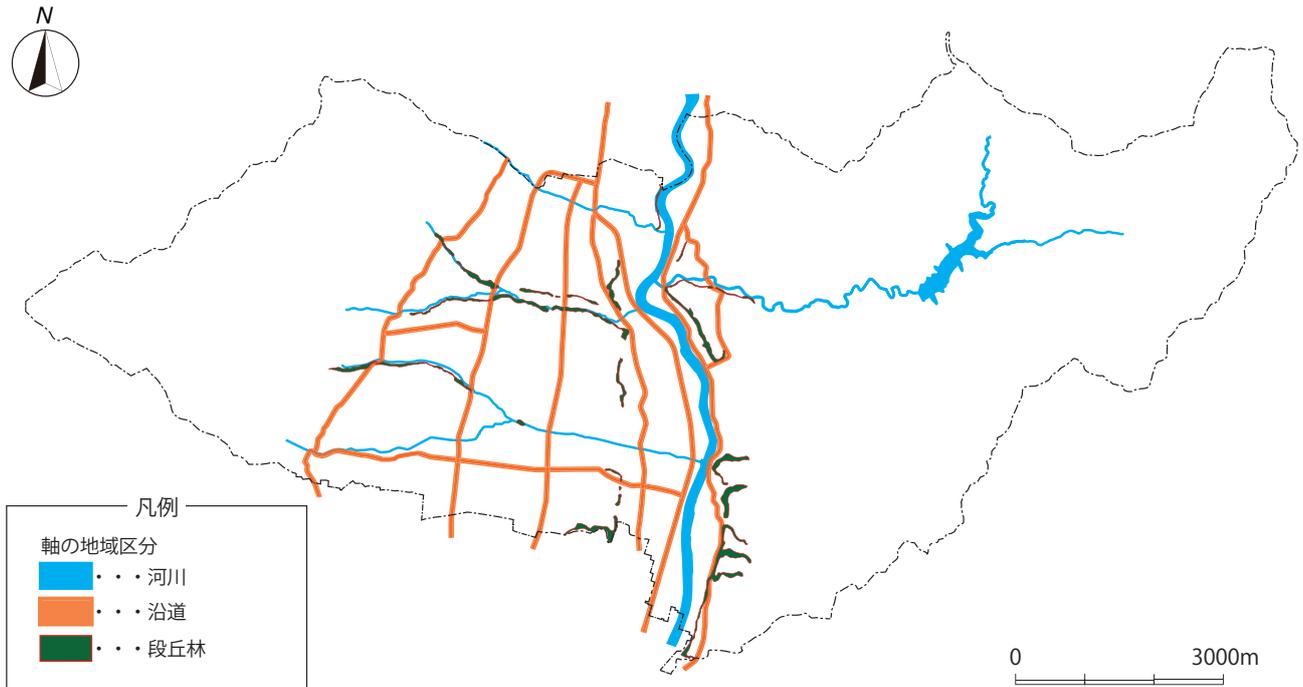
地域区分名	地域の特徴
山地・森林地域	広範囲に樹木が密に生育している地域
田園地域	おもに農地の地域。点在する住宅地も含んだ地域
住居地域	市街地を形成する地域と今後住宅の増加が見込める地域
商工業地域	都市計画法により、近隣商業区域、商業区域、準工業区域、工業区域、工業専用区域に指定されている範囲と大型店舗や工場等が立地している地域



■ 地域区分の概要（軸）

景観区域の地域区分（軸）については以下のとおりです。

地域区分名	地域の特徴
河川	水面を含む河川沿いに帯状に形成され、景観形成が必要な河川の両側 18m の地域
沿道	主要幹線道路および景観形成が必要な道路の両側 30m の地域
段丘林	天竜川や支川沿いに帯状に形成される樹林等からなる地域



河川（軸）として指定する河川

天竜川	桑沢川	深沢川	樅木川
沢川	北の沢川	帯無川	

沿道（軸）として指定する道路

国道 153 号	伊那西部広域農道
国道 153 号バイパス	町道 760 号線
主要地方道伊那辰野停車場線（竜東線）	町道木下、三日町線
県道伊那箕輪線（春日街道）	町道 53 号線
県道与地辰野線	

段丘林（軸）として指定する段丘林

天竜川や支川沿いの段丘林
